

YAつうしん 2018年 夏号



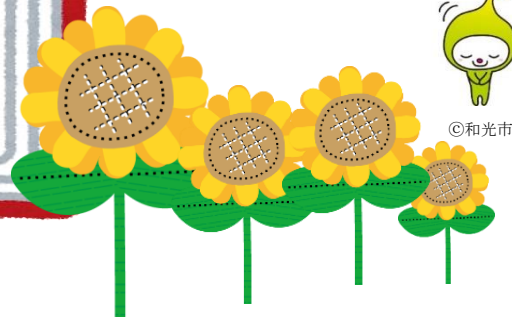
～YAって何?～

YA(ワイエー)とは Young Adult(ヤングアダルト)の略称です。主に、中学生・高校生を中心とした10代の「子どもでも大人でもない世代」を指した「若い大人」という意味の言葉です。この時期は、体だけでなく心も育つ大切な時期です。読書が一番必要な時期ともいえます。だけど、児童書だと幼すぎるし、一般書だと難しくて読む気にならない…。そんな世代に向けて、和光市図書館には「YA図書」を集めた「YAコーナー」があります！小説や職業、進学、料理、スポーツ、電撃文庫などの人気ライトノベルも！！是非、自分だけの一冊を探しに、図書館に来てみてください。

『YA通信』は、中高生向けの情報を発信していく図書館情報紙です。3月(春)・6月(夏)・9月(秋)・12月(冬)の年4回発行します。今回は第14号です！課題図書や和光市図書館オススメの一冊を紹介しています。ぜひ読んでくださいね♪



©和光市



マンガコーナーに新しいマンガが仲間入り！



●東村 アキコ 著
かくかくしかじか (全5巻)



●こうの 史代 著
夕凧の街 桜の国 (全1巻)



●中沢 啓治 著
はだしのゲン (全3巻)



●大友 克洋 著
Akira (全6巻)



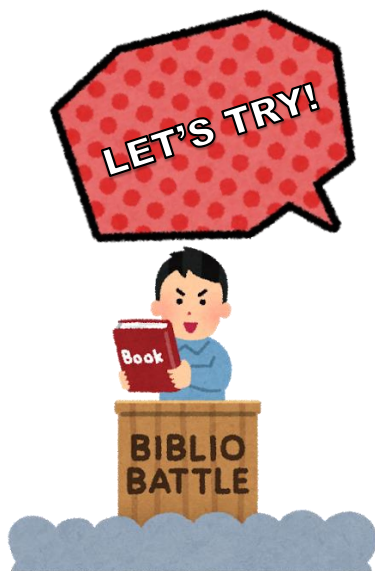
●琴音 らんまる 著
君の名は。(全3巻)



●手丸 かのこ 著
マンガレインボーKids (全1巻)

年に1回 漫画アンケートを実施しています。

次回は1月実施の予定です。ぜひ、リクエストしてくださいね！！



BIBLIO BATTLE

和光市図書館では毎年「夏休みこどもの集い」にてビブリオバトルを開催中！
ビブリオバトルってなあに？というあなたも、これを見れば一目瞭然！！
さあ、あなたもお友達を集めてビブリオバトルをやってみよう！

ビブリオバトルって何？

ビブリオバトルとは、「**人を通して本を知る、本を通して人を知る**」というキャッチコピーの子どもから大人まで誰もが出来る本の紹介コミュニケーションゲームです。

必要なのは本とカウントダウンタイマー、そして発表する自分自身、たったこれだけ！
「読書」をたくさんの人と楽しむことができる、ライブ感あふれるゲームです。

ビブリオバトルのルールって？

ビブリオバトルには公式ルールがあります。ルールを守って楽しくプレイしましょう！

1. 本を選ぶ

みんなの前で紹介する本を1冊選ぼう！
ジャンルは不問、どんな本でもOK。
自分で読んで面白かった本を選ぶのが
オススメです。

2. 発表する

発表時間は**きっちり5分**。
それ以上でもそれ以下でもありません。
原稿を持たず、配布資料も配らずに
ライブ感を持って発表しましょう！

3. 議論する

発表が終われば参加者全員で2～3分の
ディスカッション！
揚げ足をとったり批判をするのはNG！
あくまでもチャンプ本を選ぶための
質問をしましょう！

4. チャンプ本を選ぶ

全ての発表を終えたら…
一番読みたい！と思った本にひとり一票
投票して、チャンプ本を選びます！
自分の発表した本に投票せずに
他の人の本に投票しましょう！

ビブリオバトルはとっても簡単！明日からでもできちゃいます！でも、はじめ
てだとうやっという不安ですね？そんなあなたに朗報です♪

和光市図書館で開催する「夏休みこどものつどい」（※8/5 日曜日・午後開催
予定）では市内中学生が発表者となって行うビブリオバトルの見学が可能で
す！事前受付は不要です。見学の際は直接図書館までお越しください。当日は
見学に加え、チャンプ本への投票もできますよ～！

また、見るだけでなく当日パトラーとして参加してみたい！という方は
7/10（火）までに和光市図書館までご連絡・ご相談ください♪

※「ビブリオバトル」日程は変更になることもあります。あらかじめご了承ください。





オ

ス

ス

メ

の

一

冊



本館所蔵のオススメ本

「君の臍臓をたべたい」

住野 よる // 著 双葉社

資料コード：12116928 分類：Y913.6

高校生の「僕」は偶然 1 冊の文庫本を拾う。

それはクラスメイトである山内桜良が綴っていた日記帳。そこには彼女が臍臓の病気によりもう長くはないことが記されていた。

それを知ったことにより「僕」は「山内桜良の死ぬまでにやりたいこと」につきあうことになる。

誰もが、当たり前にあると思っている時間が実はとても貴重な時間だということを考えさせられる作品です。



分館所蔵のオススメ本

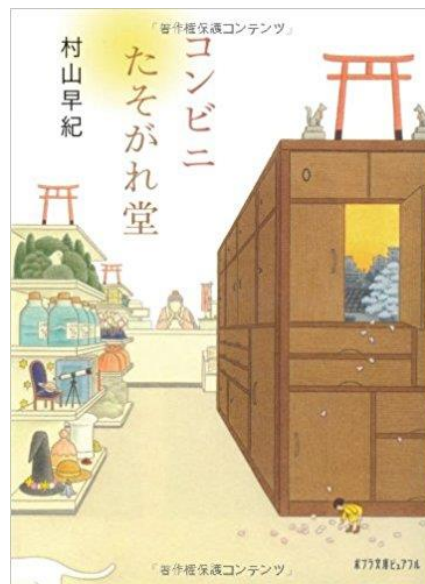
「コンビニたそがれ堂」

村山 早紀 // 著 ポプラ社

資料コード：52003581 分類：Y913

正義感が強くて猫好きな少年の雄太が、秋の夕暮ひとりで歩いているとちょっと不思議なコンビニにでくわした。そしてこの店を利用することで、こころの中のつかえが引き取られていく。

「本当に大切な なにか なくしてしまった なにかを探している」こんなおもいを抱えて通りかかると、いつのまにか現れる不思議なコンビニたそがれ堂。この店から繰り広げられる物語の数々は10代から大人まで気軽に楽しめて、生きる力の養分にもなるシリーズです。



青少年読書感想文全国コンクール課題図書紹介

一〇五度

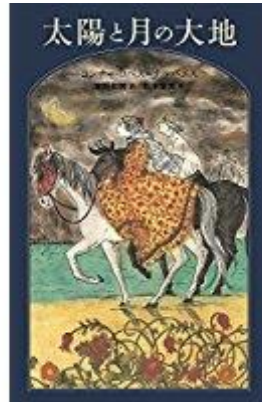
佐藤 まどか 著/あすなろ書房



都内の中高一貫校に編入した、中学3年生の真は椅子オタク。超中学生級モデラーの梨々とタッグを組み、プロダクトデザインの登竜門「全国学生チェアデザインコンペ」に挑む…！椅子デザイナーを目指す少年の、熱い夏の物語です。

太陽と月の大地

コンチャ・ロペス＝ナルバエス著/福音館書店



16世紀グラナダ。モリスコ(キリスト教に改宗したイスラム教徒)の農夫の息子エルナンドと、キリスト教徒の伯爵の娘マリアの悲恋を軸に、宗教や民族の違いによってひきさかれ、運命に翻弄される人々を描いています。

千年の田んぼ：国境の島に、古代の謎をおいかけて

石井 里津子 著/旬報社



秘境の離島に日本最古の田んぼ？ いったい誰が？ なんのために？ 日本海の荒波の向こうに浮かぶ島、山口県萩市見島に刻まれた“奇跡の風景”の謎を解く。(見返しに地図あり)

わたしがいどんだ戦い 1939年

キンバリー・ブルバ イカー・ブラッドリー 著/評論社



1939年。2度目の世界大戦さなかのロンドン。足の不自由なエイダは、けんめいに歩く練習をしていた。歩けさえすれば、弟といっしょに疎開できる！自分らしく生きるために戦う少女と、彼女をあたたく包む村の人たちを描きます。

車いす犬ラッキー：捨てられた命と生きる

小林 照幸 著/毎日新聞出版



交通事故のため自力歩行ができなくなった捨て犬のラッキー。介護が必要な彼を支えているつもりが、支えられていたのは自分だった。「ユイ(結い)」の伝統が息づく徳之島での、犬と人のドラマを通じて、命の意味を問います。

いのちは贈りもの：ホロコーストを生きのびて

フランシーヌ・クリストフ 著/岩崎書店



どんなに残酷な中にあっても、気高い精神を持ち続けた少女がいた！ナチスドイツによるユダヤ人迫害(ホロスコースト)を経験し、生きのびた少女・フランシーヌの手記。平和な生活を奪われ、苛酷な状況に追いこまれていく様子を、まっすぐな視点で語ります。